

採用者企画実施報告

採用者 立命館大学 法学部 濃野 司
用団体 日中学生交流団体 freebird
企画名 JAPAN TRIP 2015
企画内容 中国と日本の参加者による 10 日間の長期型交流事業
街頭インタビュー、家庭訪問、討論会、成果発表会、他

JAPANTRIP2015

【JAPANTRIP2015 の目的】

JAPANTRIP2015(以下、本事業)は日本・中国人学生が寝食を共にすることで、一步踏み込んだ密な交流を実現させ、様々な協同活動の中で切磋琢磨することにより「本音」を語り合える信頼関係構築の場を創出することを目的としている。そのために単日での交流企画ではなく、長期型の合宿形式を取っている。

また、特に本年度は「メディア」を大きなテーマに据え、事業を行った。10 年ほど前に比べると、民間における両国関係は随分と活発になってきた。一方で、いまだ文化の違いや、わずかな誤解・先入観から生じるトラブルが散見される。このようなトラブルが起こるのはどうしてなのか。これは、日中双方に言えることだが、多くの人々はインターネットやテレビ、新聞などの報道から得られる情報のみでお互いのイメージを作っているのではないだろうか。私たちは本事業を通して、両国の国民感情にメディアがどのような役割をはたしているのか、などを日中両国の学生に素肌で感じ考える機会を提供したい。

【本事業の概要】

本事業は、中国(北京・上海)と日本(関東・関西)各支部からの参加者とスタッフで構成される10日間の長期型交流事業である。開催地は、中国からの来訪者が近年増加している京都である。実際に観光に訪れている中国人や日本人に、様々な意識調査をおこなうため街頭インタビュー実施し、その結果を踏まえて「観光」「SNS」の二題について参加者同士による討論会を2回に渡り行った。討論会に付随し、関係する業種の企業で見学を行い、営利活動の中での日中に関する声を頂いた。事業終盤には参加者による成果発表会を行い、合宿で得たことを外部に向けて発信する場を設けた。

本事業実施に当たり、開始前には複数回の事前勉強会、終了後には各支部の事後報告会を各地で実施し、継続性のある一連の流れの中で企画を行っている。



【本事業の日程】

8月15日	各支部移動、順次京都へ集合
16日	フィールドワーク・街頭インタビュー
17日	博物館見学
18日	第一回討論会※①
19日	企業見学※②
20日	第二回討論会
21日	成果発表会準備
22日	成果発表会※③
23日	京都散策
24日	各支部移動、順次帰途へ



※①討論会

2度にわたる討論会は「観光」「SNS」の二つの議題に沿って、並行して行った。1度目の討論会でそれぞれの事実確認や疑問提起を行った上で企業見学に赴き、発生した疑問を企業の方に尋ねた。2回目の討論会は社会人の方からの意見を踏まえたうえで、自分たちにどのような事が求められているかの判断を行った。

※②企業見学

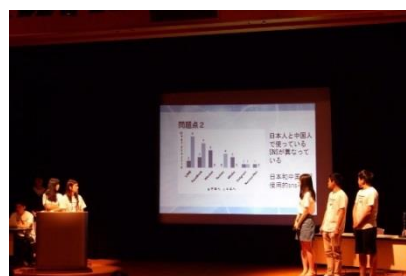
日本や中国に関連した報道がどのようになされているのか等のお話を伺った後で、参加者からの質問に答えていただく形式で意見交換会を行った。訪問先は読売新聞大阪本社。

※③成果発表会

「SUMMERBIRD」と名付け、1部では合宿の期間内で学んだこと等を JAPANTRIP2015 参加者から、来場者の方々に発表してもらった。2部では参加者と来場者の自由な交流会を行い、双方向での交流が可能な発表会とする。SUMMERBIRD は一般のイベントとして開催2か月前から広報・宣伝し、40名程度の地域の方々に来場頂いた。会場は京都市国際交流会館。

【収支報告】

収入	金額
助成金/協賛金	219 万円
参加費	184 万円
前年度繰越金	42 万円
合計	445 万円



支出	金額
交通費	航空券 103.74 万円 国内移動 50.381 万円
滞在費	宿泊 103.76 万円 食事 126.9176 万円
広告費	事後報告冊子 9.754 万円 印刷 4.172 万円
会場費	SB 会場 6.637 万円 報告会会場 10 万円
その他	消耗品 12.73 万円 講演会 9 万円
次年度繰越	7.9084 万円
合計	445 万円

【協賛/後援団体】(敬称略)

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

在大阪中華人民共和国総領事館

中国駐日日本観光代表処

京都府

京都市

立命館大学孔子学院

NPO 法人 京都府日中友好協会

NPO 法人 大阪府日中友好協会

NPO 法人 東京都日中友好協会

国際交流基金

公益財団法人 双日国際交流財団

公益財団法人 平和中島財団

公益財団法人 三菱 UFJ 国際財団

公益財団法人 東華教育文化交流財団

日本春秋旅行

京都新聞

株式会社 DISCO

株式会社 ダイヤモンド・ヒューマンリソース

他個人 2 名

